

## Lektion5

### 文法のポイント

#### ●接続語句の用法

接続語句をペアで働きをなすもの、目的・原因を表すもの、時間を表すもの、副詞が接続語句となるものの4パターンに分けて扱います。1つ目は、既習事項である nicht nur A sondern auch B などのように、A と B に入る中身の関係性を表すものです。2つ目は、接続語句以下の複文で、主文の原因や目的を表す形となっています。3つ目は、接続語句＋完了形を用い、英語の since などに当たるものを学びます。4つ目は、接続語句となる副詞を覚えます。

#### ●訪問の際の表現

自分の家に招待するときや、他人の家に訪問する際に使える表現を学びます。

### 表現のポイント

ペアやグループで、招待する側、訪問する側に分かれて会話をを行い、招待する側は客が何を必要か何があると便利かについて考えながら発言し、客はそれに対する返答や持って行ったお土産の説明などを行います。また、お互いに自分の国や出身地の文化についてドイツ語で言えるように練習を行います。